

## 第6節

# 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり

(地域情報・交流分野では、仲間とふれあいともに活躍できるまちづくりを進めます。)



# 事 業 説 明 書

新規 ・ 継続

課所名 企画部 情報システム課

【事業名】 戸籍電算システム機器更新構築経費				
【説明項目】 戸籍システムの機器更新構築について				
【予算額】				
【21年度】 0 千円 【22年度】 3,757 千円 【増減額】 3,757 千円				
1. 事業の目的				
<p>本庁市民課及び各支所市民課で使用している戸籍システムの機器が老朽化してきているため、機器更新を行う。</p>				
2. 事業の目標				
<p>現在使用している戸籍システムサーバ及びクライアントが平成22年度当初で7年目を迎えるため、業者とのハード保守契約を締結することができないことから、機器の故障による住民サービスの中断を防ぐことを目的とし、更新する。</p> <p>また職員用のコンピュータをシンクライアント方式（※）に変更することにより、セキュリティの向上につとめ、また現行の機器更新を行うことよりも安価に機器更新を行う。</p> <p>※窓口業務で職員が使用するコンピュータ（クライアント）を、ハードディスクなどの記憶媒体を持たない機器にし、サーバ側でデータを一括管理する方式。持ち去り等による情報漏えいのリスクがなくなるとともに、機器機能は最低限のものであるため、安価である。</p>				
3. 事業の概要				
1. 機器導入費				
戸籍統合システム・ブックレスハードウェア 14,400,000円 サーバ及びクライアントPC、プリンタ等のハードウェア				
2. 設定構築費 12,500,000円				
要件定義、基本設計、詳細・移行設計、環境構築、単体テスト、総合テスト、運用準備、バックアップ環境構築、運用テスト、移行・切替、打合せ等				
合計 26,900,000円×1.9%(リース料率)×60(月数)×1.05%(税)=32,199,300円 32,199,300円÷60(月数)=536,655円				
※9月からリース開始により平成22年度分は 536,655円×7(ヶ月分)=3,756,585円				
4. 財源内訳 (単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
3,757				3,757

# 事 業 説 明 書

新規 ・ ①継続

課所名 企画部 男女共同参画・交流推進課

<p><b>【事業名】</b> 韓国国際交流員招致事業費</p> <p><b>【説明項目】</b> 韓国国際交流員招致事業について</p>														
<p><b>【予算額】</b></p> <p><b>【21年度】</b> 4,831 千円    <b>【22年度】</b> 4,910 千円    <b>【増減額】</b> 79 千円</p>														
<p><b>1. 事業の目的</b></p> <p>平成19年8月に友好交流都市の韓国唐津郡との間に結んだ「交流に関する協定」、平成19年6月に韓国青少年北ソウル連盟との間に結んだ「交流に関する覚書」等により、韓国との交流が拡大している。</p> <p>韓国人の国際交流員を配置し、事業の企画・運営、韓国との連絡調整(通訳・翻訳)等を行ってもらうことにより、友好関係を更に深めることを目的とする。</p> <p>また、異文化(文化の違い・考え方の違い)を理解し、認め受け入れる事の重要性を国際交流員を通して広め、多文化共生社会の実現を目的とする。</p>														
<p><b>2. 事業の目標</b></p> <p>韓国人国際交流員を配置することで、以下の効果を上げることを目標とする。</p> <p>①韓国との連絡調整事務等の円滑化・迅速化を図る。</p> <p>②出前講座等を活用して、未就学児童から児童生徒高校生や一般の方々の異文化理解を深める。</p> <p>③国際的なことをテーマにして、コミュニケーション能力を高める。</p>														
<p><b>3. 事業の概要</b></p> <p>財団法人自治体国際化協会が実施する、外国青年招致事業で平成21年度に配置した韓国国際交流員を平成22年度も継続配置する。所属を男女共同参画・交流推進課とし、主につぎのような業務を担当する。</p> <p>①友好交流都市韓国唐津郡との交流等の韓国関係事業の企画・運営、連絡調整(通訳・翻訳)を行う。</p> <p>②韓国の文化に触れ異文化理解をすすめるため、市内の学校や団体への出前講座を行う。</p> <p>③国際理解事業の企画、運営を行う。</p> <p>主な事業費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">賃金</td> <td style="width: 30%;">3,906,000円</td> <td style="width: 40%;">(月額325,500円)</td> </tr> <tr> <td>社会保険料等</td> <td>541,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費、負担金等</td> <td>463,000円</td> <td></td> </tr> </table>					賃金	3,906,000円	(月額325,500円)	社会保険料等	541,000円		旅費、負担金等	463,000円		
賃金	3,906,000円	(月額325,500円)												
社会保険料等	541,000円													
旅費、負担金等	463,000円													
<p><b>4. 財源内訳</b> <span style="float: right;">(単位：千円)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 25%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,910</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4,910</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	4,910				4,910
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
4,910				4,910										

# 事 業 説 明 書

新規 ・ ① 継続

課所名 企画部 男女共同参画・交流推進課

【事業名】 国際教養大学交流事業費				
【説明項目】 国際教養大学交流事業について				
【予算額】				
【21年度】 690 千円 【22年度】 630 千円 【増減額】 △ 60 千円				
1. 事業の目的 平成21年2月20日に国際教養大学と締結した、「国際交流に関する連携プログラム協定」に基づき、大仙市の小学校児童及び中学校生徒並びに幼稚園及び保育園の未就学児と、国際教養大学の留学生とが交流することにより、双方が異文化体験を重ねる機会とし、国際理解を深め、国際親善に寄与することを目的とする。				
2. 事業の目標 異文化（文化の違い、考え方の違い等）に直接触れることで、以下の効果を上げることが目標とする。  ①留学生と直接触れ合うことで、体験を通して双方の異文化理解が可能となる。 ②小学校での英語教育にあたり、英語に対する親近感と興味を持つことができる。				
3. 事業の概要 市内幼稚園・保育園の未就学児童及び小中学校児童・生徒が、国際教養大学の留学生と授業や学校行事等をおして交流を行う。 交流は平日及び土曜日を想定、5月～7月(第Ⅰ期)、9月～12月(第Ⅱ期)、1月～3月(第Ⅲ期)の3期に分けて事業を行う。留学生の送迎は公用車を利用する。  ・ 小学校 33回 交流留学生延べ人数 132名 ・ 中学校 5回 交流留学生延べ人数 20名 ・ 幼稚園・保育園 16回 交流留学生延べ人数 64名 合計216名  留学生への謝礼金は1回につき、2,000円/1人 留学生に対する謝金の他に給食費、行事参加費、留学生のイベント参加傷害保険料を大仙市が負担する。 交流事業の内容については男女共同参画・交流推進課が取りまとめ、事業推進については教育委員会と連携し、国際教養大学と協議しながら進める。				
4. 財源内訳 <span style="float: right;">(単位：千円)</span>				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
630				630